

うららの 日常生活紹介 渥美 友香理

うららは17名の利用者が生活するゾーンです。横地分類では、A3・2名 A4・7名 A5・1名 A6・1名 B4・2名 B5・1名 B5-1B・2名 C4・1名に分かれます。

日々の生活の中で、一人一人の利用者がどんなことに興味や関心があり、どんな楽しみを持っているのか、今もっている楽しみを広げたり深めたりするにはどうしたらよいかを考えて提供しています。

A4のAさんは手のひらで、水道から出ている水を受けたり、自分の着ている服や畳の表面をさすったりする行動があります。これは手のひらで感じる素材の感触を楽しんでいるようです。また床上や畳上で腹臥位になり上体を起こして足をバタバタさせることや、スキップするように跳ねていることがあります。日常活動でも、体全体で揺れを体感できるものが楽しめると思います。バランスボールを提供しました。ボールに腰掛けるようにして座り、職員が体幹を支え弾んだり止めたりして動きに変化をつけて揺らすと、表情がゆるみ笑顔がみられます。職員が「1・2・3」

などの声掛けをすると声を出して笑い、より楽しそうな様子でした。この活動を通して揺れやリズムの変化が楽しめたと思います。

A5のBさんはリビングの床上でお腕や丸い器を回します。物の動きの変化や感覚、素材の感触を楽しむ様子が見られます。自ら動かして楽しむだけでなく、職員が動かす様子を見て楽しめるようです。またBさんは職員の次の行動を期待している様子が見られます。



た。同じ素材を使っても、人によって楽しみ方は違うと思います。

今後も利用者理解を深め、楽しみや満足できる活動が提供できるよう取り組み展開していきたいと思えます。

あさひの 日常生活紹介 犬塚 博美

あさひは、18歳以上の成人を対象とし日中活動を主体に障害福祉サービスを提供しています。

現在43名が利用契約をされ、一日35名の通所枠を持ちます。

日常生活上のADLや医療的ケア等が常に必要な人が多く通所しています。

横地分類では19名がA1に位置し、その他A2・5名

A3・2名 A4・1名 B1・8名 B3・1名 B3-1B・1名 B4・1名 D1・

2名 D2・1名 D3・B・1名 となります。日常生活は、これまでの経験と関わりから、利用者一人ひとりに適した良い活動を考へて提供しています。6グループに分かれてじっくり向き合っている様子があります。利用者自身が対象に注目して見たり、聞いたり、触れたりしながら、感じたことを表現し楽しむことを大切にしています。障害像によっては、自分の期待どおりで来たことに満足して、達成感をもって活動を楽しめる人もいます。利用者が個々の課題に向かって、意欲を持って関わりとうとする気持ち芽生えていく活動を提供したいと考えます。

Aさんは、強い筋緊張を伴いながら日常を過ごしています。通所の環境にも徐々に慣れ、活動に良い表出が増えてきました。利用当初は、体位を変えたり触れたりすると、身体にぎゅうと力が入り、緊張が緩和するまで時間がかかりました。Aさんが見つめているものや聞こえてくる音の心地よさを感じていることには気付きはあったものの、良い表出には繋がりませんでした。見て聞いて気持ちがかう活動を提供する中で、ささやく声や音の響きに柔らか

「横地分類 (改訂大島分類)」

「移動機能」、「知能」、「特記事項」の3項目で分類し、以下のように表記する。

例：A1-C, B2, D2-U, B5-B, C4-D

＜知能レベル＞						
E6	E5	E4	E3	E2	E1	簡単な計算可
D6	D5	D4	D3	D2	D1	簡単な文字・数字の理解可
C6	C5	C4	C3	C2	C1	簡単な色・数の理解可
B6	B5	B4	B3	B2	B1	簡単な言語理解可
A6	A5	A4	A3	A2	A1	言語理解不可
＜特記事項＞						
C: 有意な眼瞼運動なし						
B: 盲						
D: 難聴						
U: 両上肢機能全廃						
＜移動機能レベル＞						
戸外歩行可	室内歩行可	室内移動可	座位保持可	座位保持可	寝返り可	寝返り不可